28. 9. 231800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７１３号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
　(1)　情　勢
　(2)　本日の活動成果
　(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
　(1) 本日の成果
　　活動概要
　(2) 明日の活動
　　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
　(1)　気　象
　(2)　暫定政府樹立までの主要結節
　(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　　日本隊に及ぼす影響
　(4)　部隊配置状況
　(5)　タスク現況
　(6)　警備の態勢

1　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

1　情　勢

(1)　全　域

ア　和平合意関連

和平合意は、キール大統領による閣僚及び顧問の指名や、タバン第１副大統領の台頭により、少しづつ進捗するものと思料。しかしながら、地域保護部隊の受け入れを、南スーダン政府が承認したものの、ＵＮＤＰＫＯ（国連ＰＫＯ事務局）及び安保理は受け入れ表明後の議論が進捗していないことに懸念を表明しており、今後の武器禁輸等の制裁措置及び南スーダン政府側の反応には注視が必要

加えて、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第１副大統領派の高官がＳＰＬＡ－ｉＯ本部の所在するパガクへと戻ったとの報道もありＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂及びマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

イ　その他の情報資料

北部においてＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯの小規模な戦闘が再開するとともに部族間抗争に関する懸念が生起、南部地方においては、政府側勢力とＳＰＬＡ－ｉＯ等との間での戦闘は継続しており、報復及び一般犯罪は継続するものと思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると見積もられるが、マシャル氏の回復及び今後の発言の如何によっては、戦闘の活発化は否定できない状況にあるものと思料

加えて、ＵＮＤＰＫＯ及び安保理からＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害に関する懸念が表明されるとともに、南スーダン政府側からはＤＲＣ（コンゴ民主共和国）でのＵＮによるＳＰＬＡ－ｉＯの救助支援に対する不満が示される等、対ＵＮ感情は悪化しており注意が必要

(2)　ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせてはいるものの、ジュバ郊外で小規模なＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯの戦闘及び武装集団による車両への襲撃事案が継続、また、[redacted]しており、郊外への移動には危険が伴う可能性

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、経済は低迷（1$=84SSP）し犯罪等が発生しやすい状態であるとともに、ＵＮハウス近傍における射撃事案の継続やＵＮハウス近傍を徒歩で移動する銃を携行したＳＰＬＡの増加が確認されており犯罪又は検問での発砲への巻き込まれには注意が必要

ＵＮＤＰＫＯ及び安保理からＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害に関する懸念が表明されるとともに、南スーダン政府側からはＤＲＣ（コンゴ民主共和国）でのＵＮによるＳＰＬＡ－ｉＯの救助支援に対する不満及びＰＯＣサイトにＳＰＬＡ－ｉＯを匿っているとの懸念が示されており、対ＵＮ感情は悪化しており注意が必要

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾、ＩＤＰの移送に伴う小競り合いへの巻込まれ及び疾病罹患の可能性があり注意が必要

また、ジュバ市内においては、デモへの巻き込まれ、ハラスメント及びＳＰＬＡによる検問周辺での流れ弾には注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するＳＰＬＡ兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

３　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築、北側外壁構築のための偵察（ＵＮハウス内）、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区排水整備を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びイエイ道、グデレ道沿いでの戦闘状況を注視するとともに、ＵＮハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区における給水活動（成果：１０ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

ａ　ＵＮトンピン地区排水整備

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における排水整備

ｂ　Ｎハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁の構築

ｃ　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

ｄ　ＵＮハウス地区北側外壁のための偵察（ＵＮハウス内）

第１施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における北側外壁の構築のための偵察

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

a　情報班等をもって、ＵＮトンピン地区内及ジュバ市内における出張者送迎含む情報収集活動

b　隊本部等をもって、ジュバ市内及び[redacted]内における経路偵察

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部等もって、ＵＮトンピン地区におけるＵＮ資材受領

(ｷ)　隊本部等をもって、ジュバ市内における銀行業務及び現地調達

(ｸ)　隊本部等をもって、ジュバ市内における市内研修

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

３　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

また、部外講話により日本のアフリカ外交について認識を高めるとともに、指揮転移後１００日達成記念として、ジュバサマーフェスタを実施し、隊員相互の団結強化を図る。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(ｱ)　施設活動

状況により、隊本部等をもって、臨時工兵課タスクの実施

(ｲ)　インフラ整備

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

情報班をもって、ＵＮトンピン地区内の情報収集活動

(ｲ)　業務調整

な　し

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

エ　表敬等
　　日本大使次席による、派遣施設隊に対する講話及びジュバサマーフェスタ参加
オ　各種行事
　　派遣施設隊による、１００日団結式としてジュバサマーフェスタの開催
カ　国際機関等連携案件
　　な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

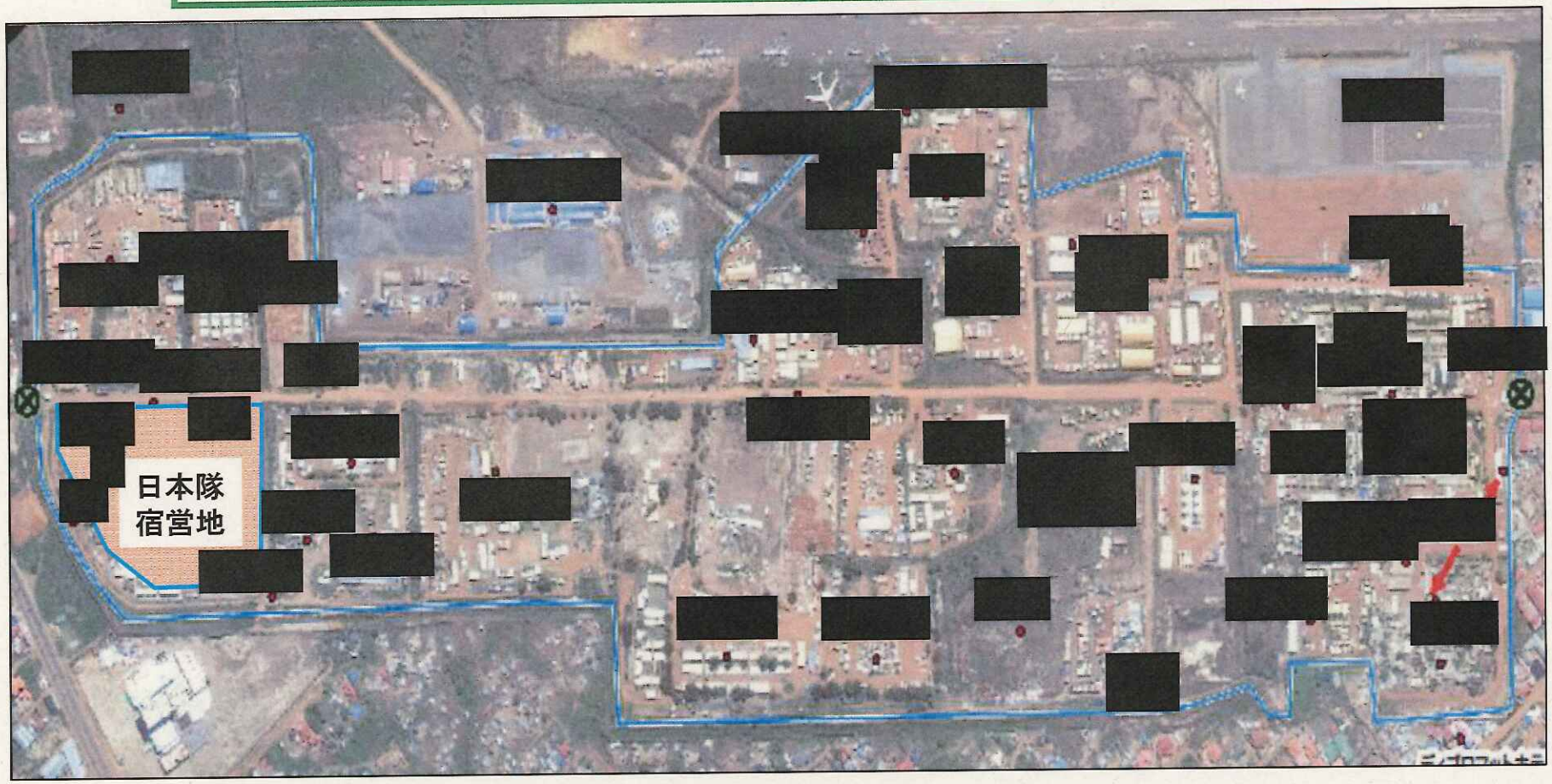
別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区排水整備	器材小隊	０８００～１６００	ログベース	4	小型×１、油圧×１	[redacted]
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	3	給水車×１、小型×１	
③	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパールＦＰＵ	3	給水車×１、小型×１	
④		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	2	小型×１	
⑤		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	2	小型×１	
⑥		ＵＮ資材受領	隊本部（Ｓ－４）器材小隊	０８００～１６００	ログベース	１６	小型×１、大型×３ 道省車×１，バケット×１ 中型×１	
⑦		広報活動	隊本部（広報）	０７４０～１６００	ＵＮトンピン内	2	小型×１	
⑧		情報収集	情報班	[redacted]	ＵＮトンピン内	[redacted]		
⑨		巡回警備	警備小隊	０７４５～１７００	ＵＮトンピン内全域			

凡例　ＵＮタスク

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



7	広報活動
8	情報収集
9	巡回警備

別紙第１－３

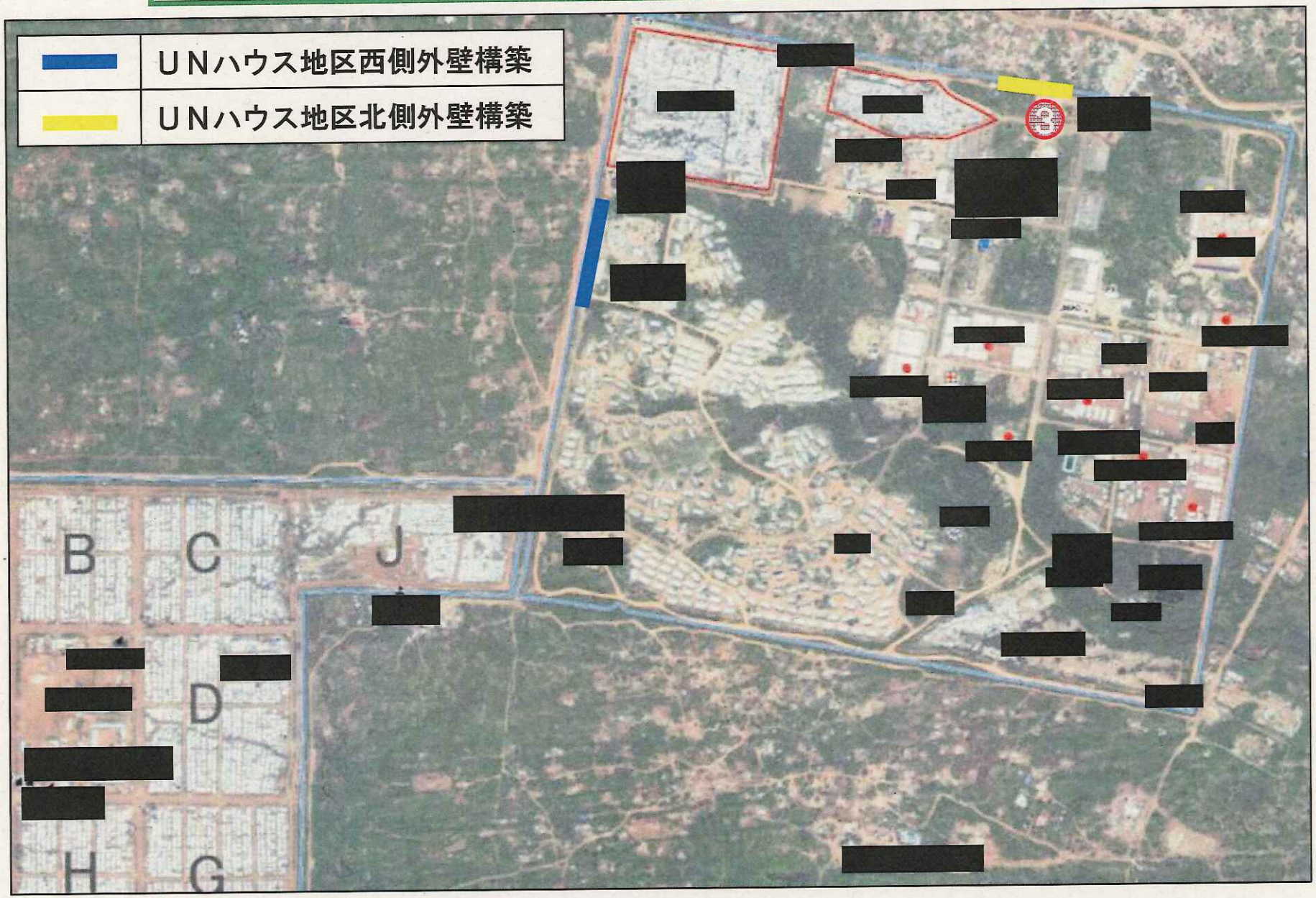
活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３０～ １６３０	ＵＮハウス西側	１１	高機×2、大型×1、特大型×1 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	[redacted]
②		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７３１～ １６３０	弾薬庫	２１	高機×2、大型×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③	施設	ＵＮハウス地区北側外壁構築のための偵察（ＵＮハウス内）	１小隊	０７３３～ １６３０	ＵＮハウス北側	９	高機×2 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３）	０７３２～ １２００	工兵課	３	高機×1	
⑤		広報活動	隊本部 （広　報）	０７３２～ １６３０	ＵＮハウス	２	高機×1	

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）

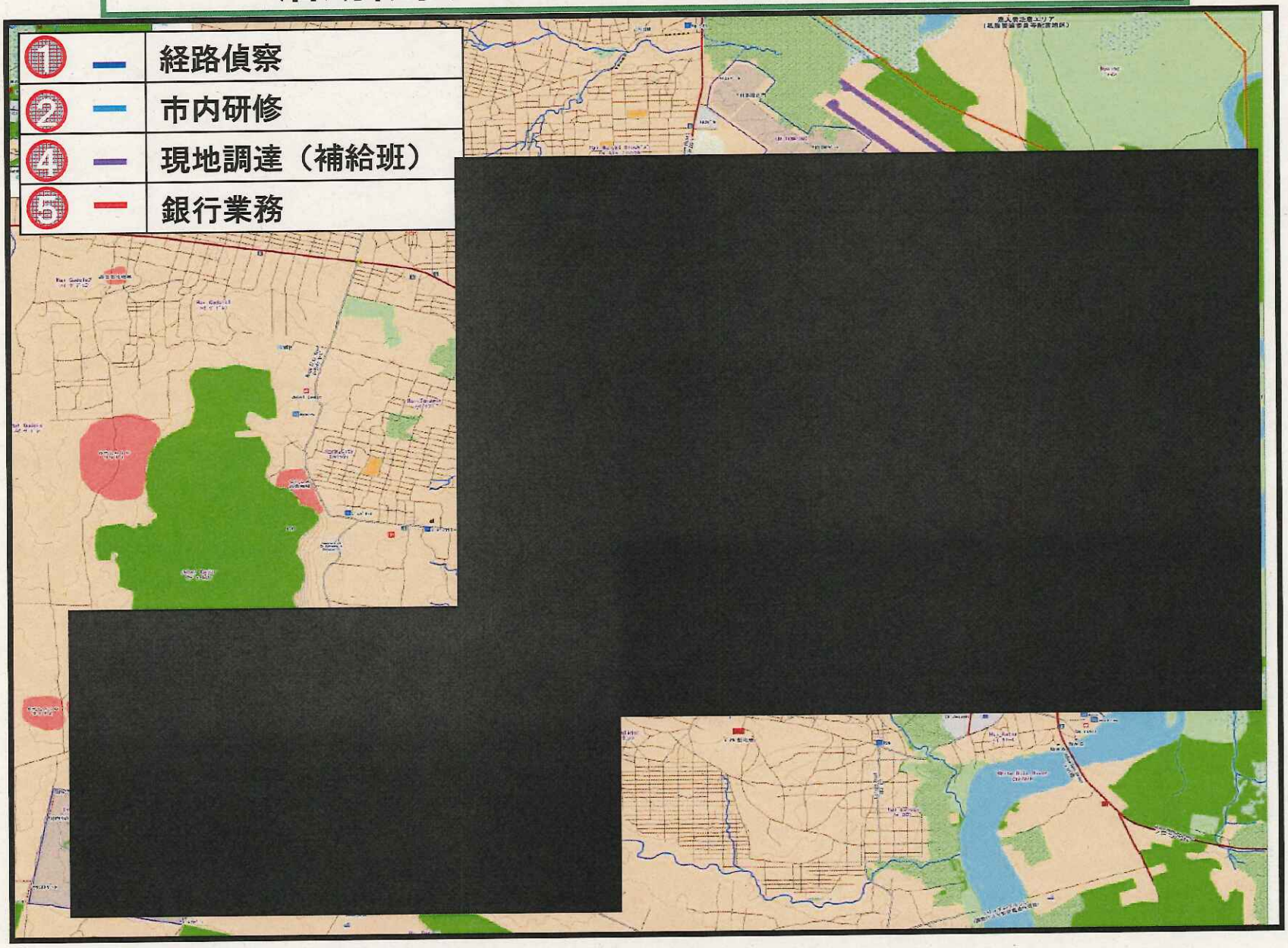


活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２） 警護班		ジュバ市内			
②	その他	市内研修	隊本部 （Ｓ－１）	１２００～ １６００	ジュバ市内	１１	ランクル×2	
③		現地調達（補給）	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６３０	メインゲート前	３	中型×1	
④		現地調達（補給班）	補給班 隊本部 （Ｓ－４）	０９００～ １２００	JIT LA BAGETTO	４	高機×1	
⑤		銀行業務	隊本部 （Ｓ－４）	１３３０～ １６００	ジュバ市内	３	高機×1	
⑥		ウガンダ出張者送迎	情報班	０８３０～ １８００	ジュバ市内			

別紙第１－６

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）

凡　例	
――	経路偵察

本日の活動成果

ＵＮトンピン内排水整備

活　動　前
施設器材小隊【9.23 0900現在】

活　動　後
施設器材小隊【9.23 1200現在】

活　動　成　果	
進度：実施　１００％　／　計画　１００％ 累計：実施　１００％　／　計画　１００％	側溝内堆積土除去

本日の活動成果

ＵＮトンピン地区退避壕構築（資材受領）

活　動　前
施設器材小隊【9.23 0900現在】

活　動　中
施設器材小隊【9.23 1200現在】

活　動　成　果	
進度：実施　１００％　／　計画　１００％ 累計：実施　１００％　／　計画　１００％	ミフラムの積載・卸下

本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【9.23 0900現在】

活　動　後
第２施設小隊【9.23 1200現在】

活　動　成　果	
進度累計 [redacted]	・整地作業 ・測量及び経始 ・ヘスコ撤収

本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【9.23 1000現在】

活　動　中
第３施設小隊【9.23 1500現在】

活　動　成　果	
進捗 累計 [redacted]	・護岸工事（杭打入・鉄板設置） ・整地作業

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／11）／Situation

別紙第３－１

凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報

新規事象なし

(2)　和平合意不履行に関する情報

■　報道によれば、国連専門家パネル報告書には、和平合意当事者らが南スーダンにおける民族間の緊張を悪化させているとしているため、南スーダンに武器禁輸を課すべきであると記載されている模様

また、キール大統領に対して多大な影響力を持つディンカ族長老評議会について、国連及び安保理が任務付与した地域保護部隊に対する暴力の煽動に関与しているとして非難している模様

（２２日　RadioTamazuj　“Biggest risk to transitional govt is S Sudan’s own leaders, confidential UN report says”）

→　報告書の真偽は不明であるが、専門家パネル報告（９月２８日予定）の内容により政府のＵＮ感情がさらに悪化する可能性もあり注視が必要

■　２２日、南スーダンにおける人道状況に関する高官会議がニューヨークにおける国連総会と並行して開催された模様

■　国連事務総長は「南スーダンにおける人道状況は、容認できないレベルに達しており、人道危機に関する調査を開始した。人道危機は、７月の衝突以降悪化しており、加害者らは罪を問われるべきである。」と発言

（２２日　エチオピア外務省ＨＰ）

■　タバン第１副大統領は、同会議において「南スーダンにおける治安状況は比較的安定している。国内避難民は、ジュバ及びベンティウにおいて自宅に戻っている。しかし、南スーダンが平和かつ安全であるとみなされるようになるまで、障害が多く残っている。」と発言

（２２日　ＶＯＡ　ＨＰ　“VP Humanitarian Crisis in south sudan Appalling”）

→　国連として武器禁輸措置も含め、厳しい制裁を追究してくるものと思慮

また、南スーダン政府発言は治安の安定を主張していることから、暫定政府による和平合意は順調に進んでいることをアピールし、地域保護部隊の受け入れ否定や武器禁輸措置を避ける狙いであるものと思料

情　勢（２／１１）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

❶ [redacted]

❷

(3)　その他入手した主要な情報資料

■　２０日、ＳＰＬＭ－ｉＯ（マシャル氏派）はスーダン首都ハルツームにおいて（国民）解放議会を開催し、メンバー４５人が出席した模様

■　同日、スーダン政府はマシャル氏がSPLM-IO会議に関して記者会見を行うことを制止した模様
（２２日　RadioTamazuj　“SPLM-IO holds Liberation Council meeting in khartoum”　）

→　スーダン政府は、マシャル氏の滞在は許可しているものの対外的な政治活動は禁止しており、南スーダン政府との関係を維持する企図があるものと思料　ＳＰＬＭ－ｉＯの動向に注視

情　勢（3／11）／Situation

別紙第３－３

凡例　青字：新規
赤字：評価

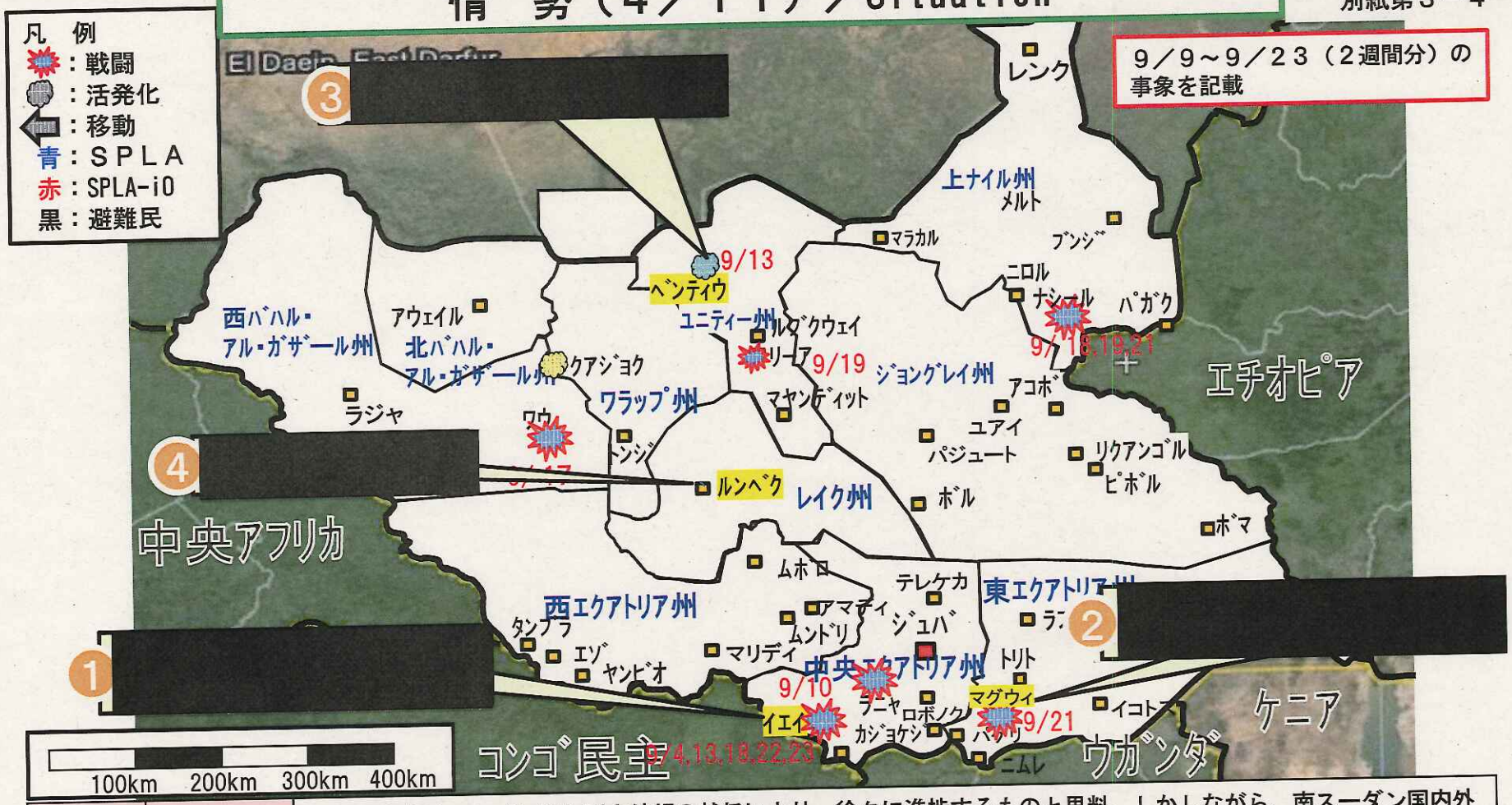
3

[redacted]

4

別紙第３－４

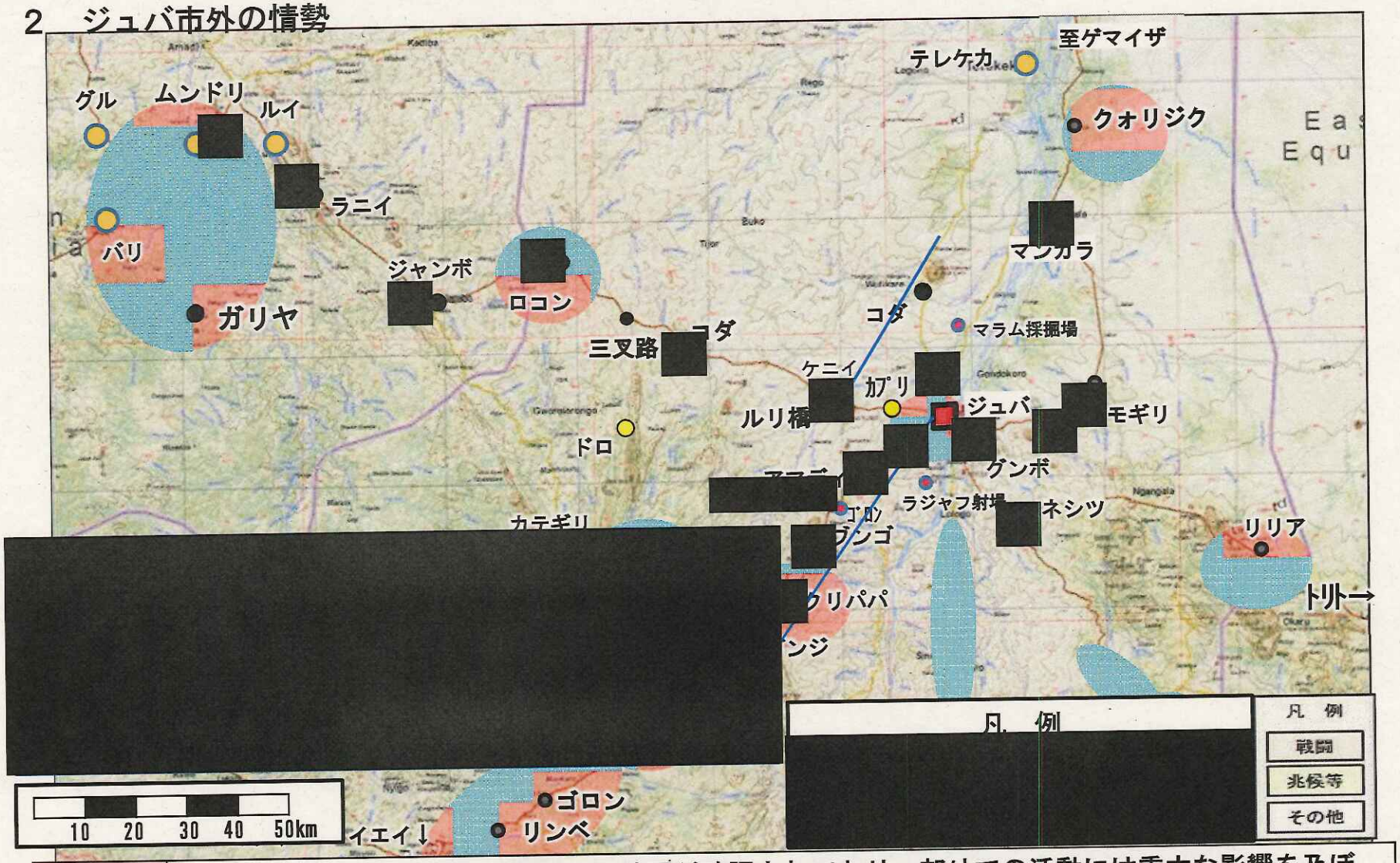
情　勢（4／11）／Situation



評　価	和平合意	和平合意は、タバン第１副大統領の就任により、徐々に進捗するものと思料。しかしながら、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されており、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂が及ぼす影響について注視が必要である。加えて、ＳＰＬＡとＳＰＬＡ－ｉＯ間の戦闘は小康状態であるものの、地域保護部隊の派遣に関して活発化する可能性もあり、議論の方向性及びマシャル氏の動向にも注視が必要である。 また、安保理からのUNMISSﾏﾝﾃﾞｰﾄ妨害に関する懸念や、南スーダン政府側からのUNに対する不信感が確認されており対UNMISS感情には注視が必要。
	その他の事象	北部及び南部地方において、地元の者と思われる武装集団とＳＰＬＡ又は暫定政府との間で戦闘が生起しており、暫定政府及び新２８州制に基づく新州行政機関の治安統治能力は地方においては十分に発揮できていないため、報復及び一般犯罪は継続するものと思料

情　勢（５／１１）／Situation

2　ジュバ市外の情勢



評　価	ジュバ郊外、特に南部においては戦闘が確認されており、郊外での活動には重大な影響を及ぼすとともに、[redacted]されており、戦闘地域のジュバ方向への移動及びハラスメントに注視が必要

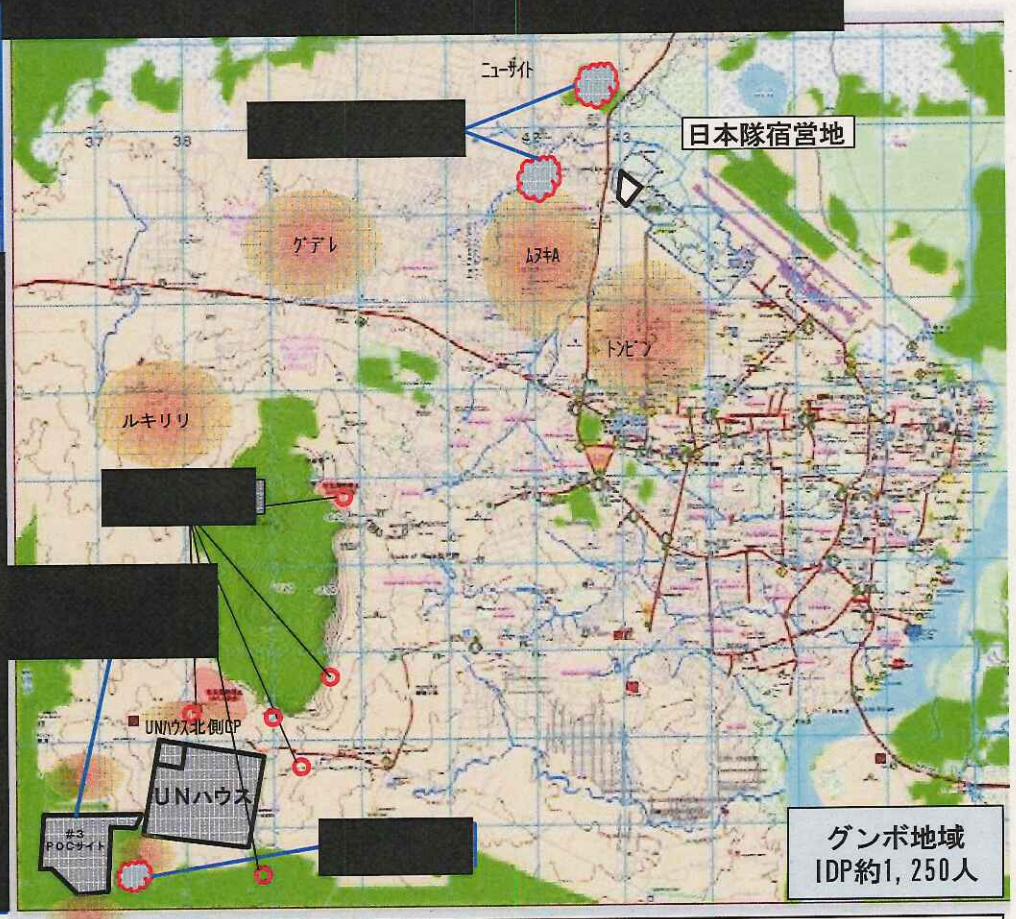
情　勢（６／１１）／Situation

３　ジュバ市内の状況　１

[redacted]

■　２２日１９４３頃、宿営地北（距離不明）
曳光弾３発確認　　（２２日　施設隊）
■　２２日２３５０頃、宿営地西５００m以上、
射撃音２発確認　　（２２日　施設隊）
→　流れ弾に注意

[redacted]



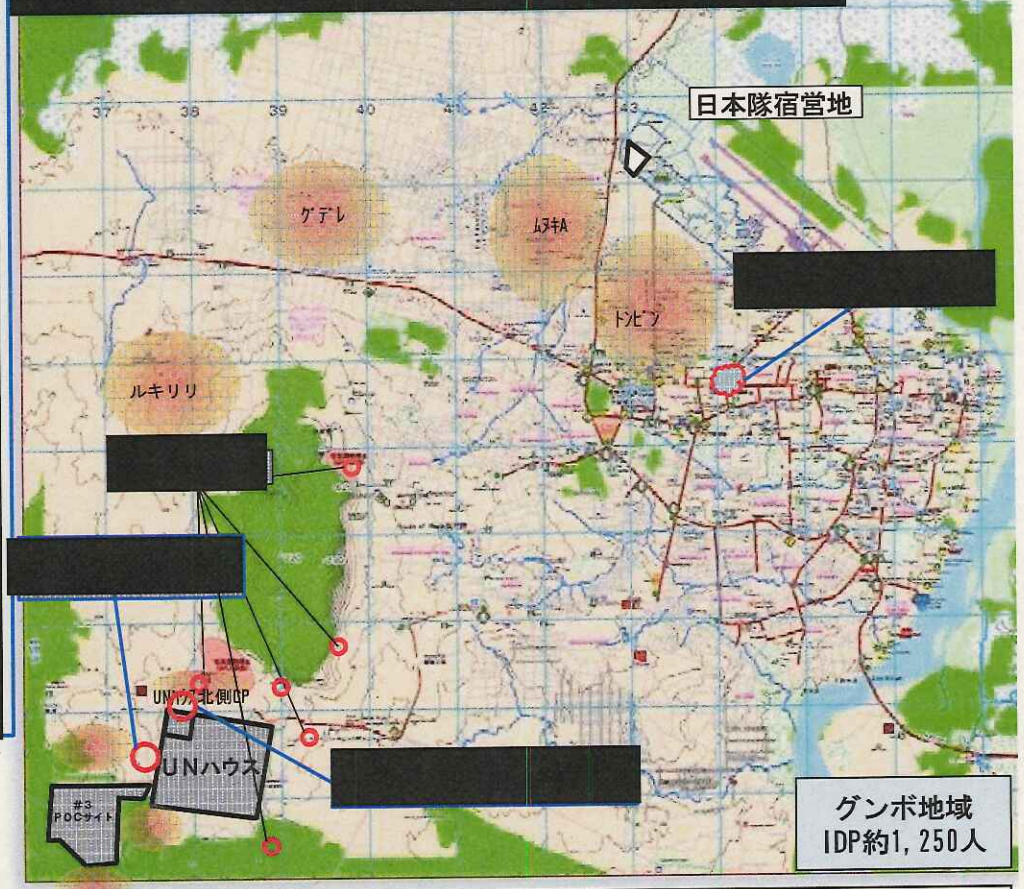
評　価	市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、[redacted]や夜間における宿営地周辺では、常続的な射撃が確認されており、特にＵＮハウス[redacted]が行われている事から、各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに注意が必要

情　勢（7／11）／Situation

3　ジュバ市内の状況　2

[redacted]

[redacted]



評　価	市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、[redacted]や夜間における宿営地周辺では、常続的な射撃が確認されており、特にＵＮハウス[redacted]が行われている事から、各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに注意が必要

情　勢（８／１１）／Situation

３　ジュバ市内の状況　３

■　２２日２１００～２２００頃、ロックシティロードジュベルロッジ近傍のＳＰＬＡ兵舎地域で５０発以上の射撃音
　犯人については２３日に逮捕された模様

■　２３日０４００頃、ロックシティＭ交差点付近、１０発～２０発射撃音
（２３日 [redacted]）

→　同地域の動向に注意

[redacted]

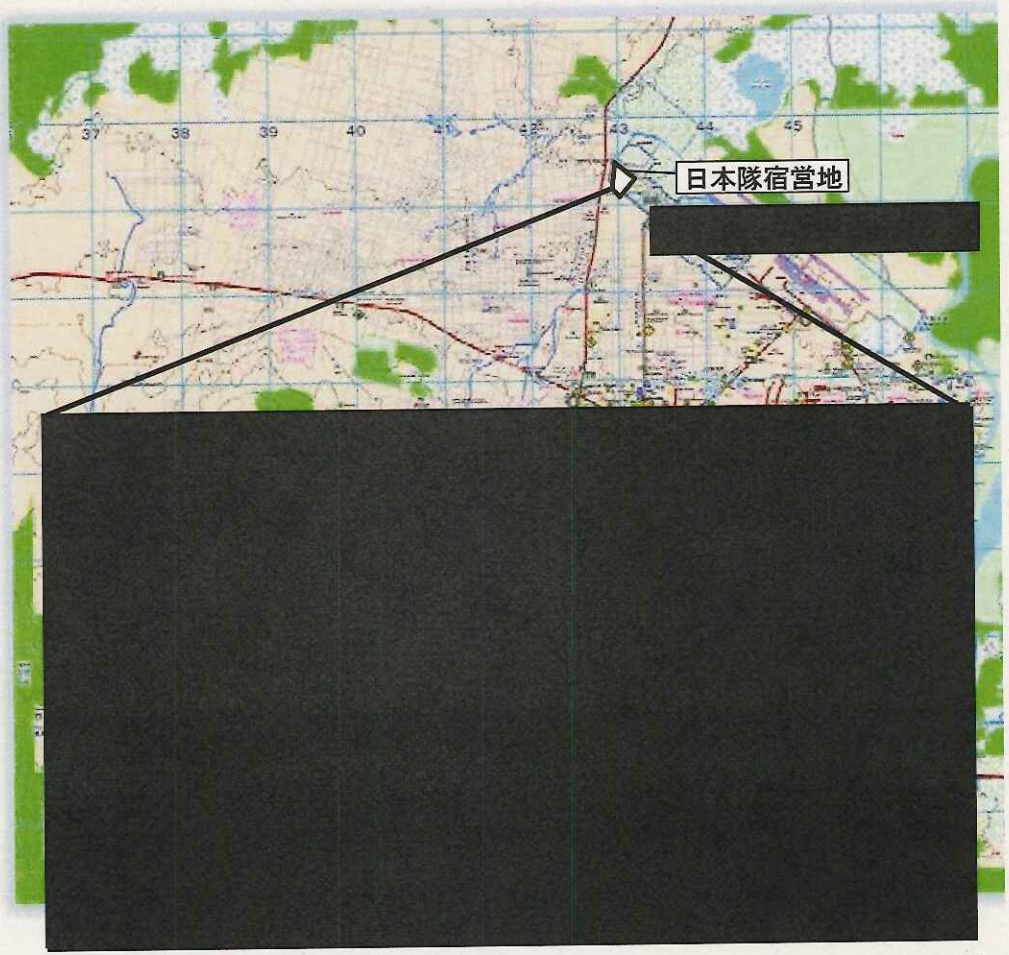
[redacted]

評　価	市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、[redacted]や夜間における宿営地周辺では、常続的な射撃が確認されており、特にＵＮハウス[redacted]が行われている事から、各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに注意が必要

情　勢（９／１１）／Situation

４　ＵＮトンピン内ＩＤＰの状況

■　２３日のＩＤＰ移送は９５名実施
（２２日　施設隊）
→　引き続き移送に伴う小競合いには注意

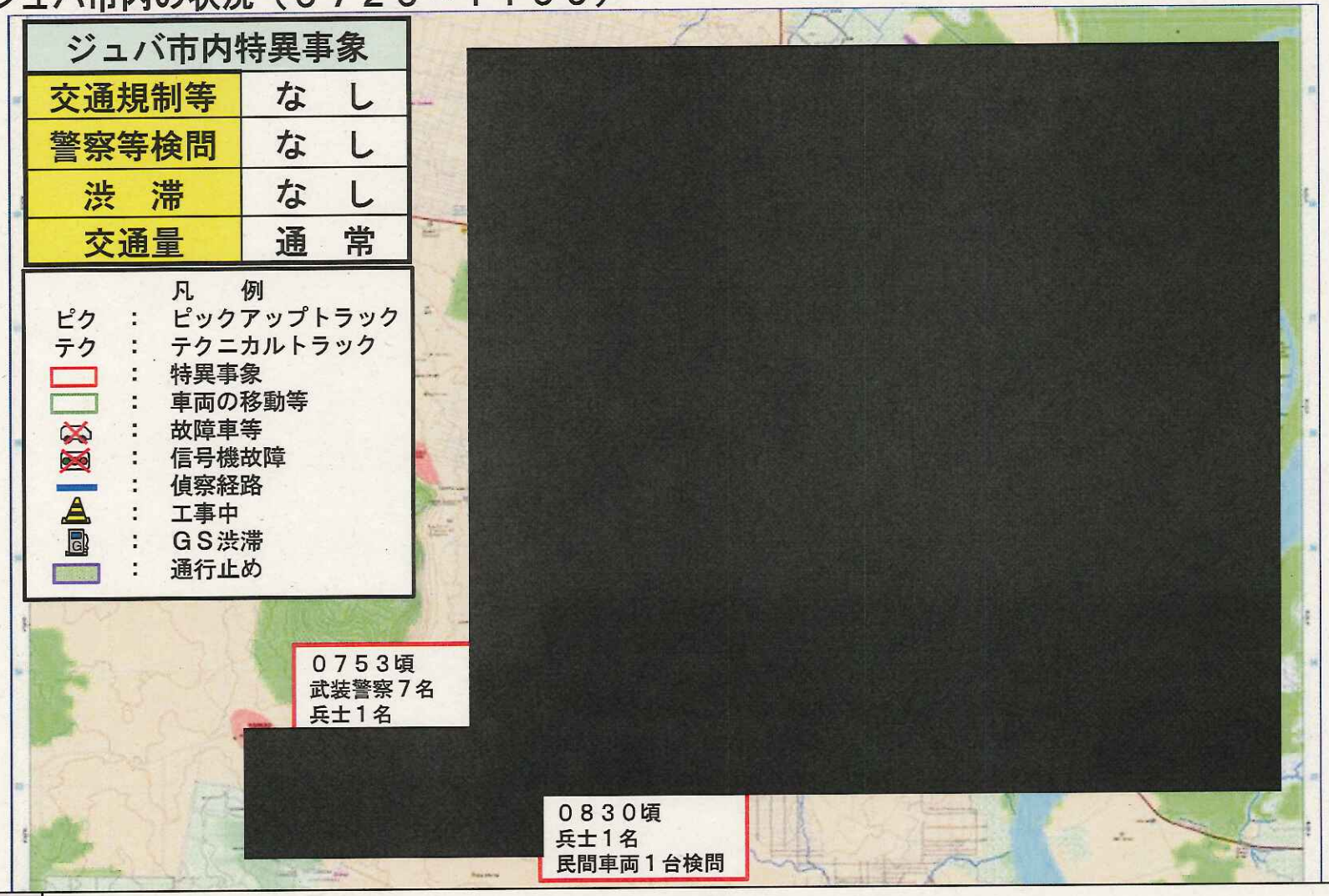


評　価	[redacted]及び水や食糧等を目的とした夜間の宿営地内への侵入等には注意が必要であるとともに、強制的なＩＤＰの移動に伴うＵＮＭＩＳＳ職員とＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれには注意が必要

情　勢（１０／１１）／Situation

５　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（１１／１１）／Situation

４　気　象（０６００i）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	曇り	２２℃	３２℃	３４％	６４％	０mm	
カンパラ	晴れ時々雨	１６℃	３２℃	３８％	９１％	１mm	

別紙第４－１

９月２３日１３００ｃ

主要装備品等現況／Equipment Status

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機 （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 → [redacted] 予備の１００ＫＶＡ発電機を使用

別紙第４－２

９月２３日１３００ｃ

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

別紙第４－３

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

９月２３日１３００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	そ の 他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

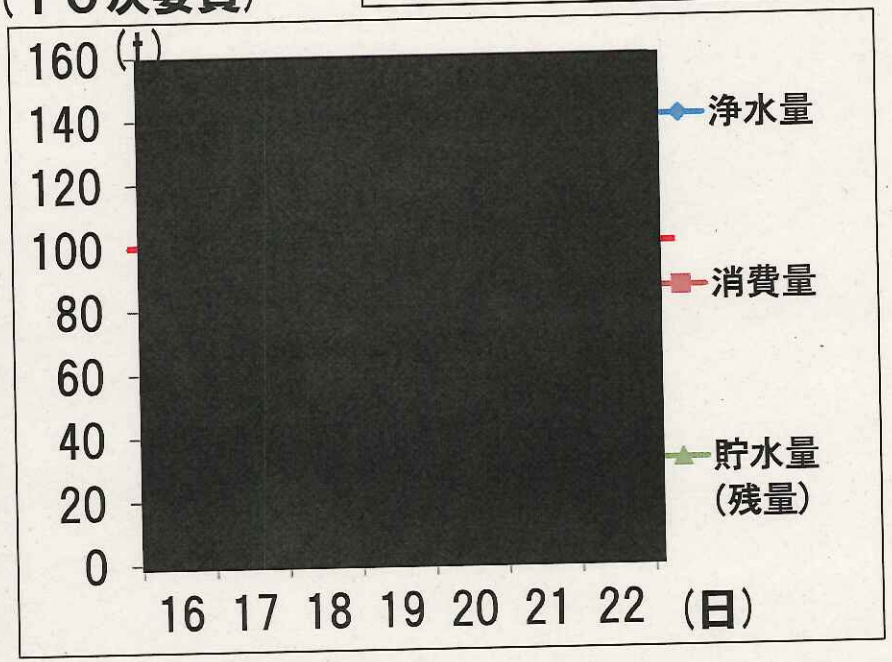
別紙第４－４

９月２３日１３００c

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28.9】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
金	１６	[redacted]		
土	１７			
日	１８			
月	１９			
火	２０			
水	２１			
木	２２			



他国供給先（前日実績）		供給量
タスク	ＵＮハウス	3
	トランジット	2
タスク外	ネパールＦＰＵ	
	ネパール歩兵中隊	3
	エチオピア大隊	
	バングラ河川隊	
合　計		8

【評　価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
　再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手による対応が必要である。

○9月20日第4井戸の深さ調査を実施
　深さ:24m(8月16日の故障時から変化なし)

※　貯水の危険水位:[redacted]

(注)日々の消費量が[redacted]を超える日が[redacted]で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計　６名

９月　２２日１８００c
～９月　２３日１８００c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
隊本部	１名	[redacted]	
本部付隊	１名		
施設器材小隊	１名		
第１施設小隊	１名		
第２施設小隊	１名		
警備小隊	１名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６
９月２３日１８００c

人員現況／Personnel Status

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（ＵＮトンピン）	３５３	３５	３１８	○ウガンダ出張（[redacted]２名） ○国連休暇（３３名）	○９／２０～２５（[redacted]）

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　赤字：強調　青字：不在者

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	ＩＤＰの侵入	8/5~バングラ大隊との間の道路夜間閉塞	[redacted]
		流れ弾	8/25, 31, 3, 7, 13, 14, 18, 21, 22 近傍での射撃（特に夜間）	
	ＵＮトンピン	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ）	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/30 IDPとFPU、ｳｫｰﾘｱ等の小競合い	
		ＩＤＰに対する攻撃への巻き込まれ	[redacted]	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		物品盗難	8/11, 30, 9/3, 5, 7, 8 窃盗犯の逮捕	
		疾病罹患	8/5, 30 ｺﾚﾗ患者は減少傾向	
	ＵＮハウス	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ）	
		ＩＤＰの流入又は侵入	[redacted]	
		流れ弾	9/15, 19, 23 徒歩で移動するSPLA	
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシャル派による平和的デモ [redacted] 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

活動の分析及び評価

[redacted]

項目			兆候上	発生する公算
情勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
			8/18 UN報道官がUNがﾏｼｬﾙ氏の輸送を支援したことを発言	
			[redacted]	
			9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 治安部隊の再展開の実施及び検証支援の期限 不明　警察学校の卒業式	
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/29 地域保護部隊の任務等が不明な段階では同意できず 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 8/31 UNMISSとのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ期限 8/31 カスタムマーケットでの呼掛け 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/2~5 安保理代表来南スーダン（2,3,4昼,5朝ジュバ） 9/14 UNMISSﾏﾝﾃﾞｰﾄ実施状況等報告	
		流れ弾	[redacted]	
			9/22 夜間のﾑﾇｷ地区で10発以上の射撃	
	ジュバ郊外（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
		ハラスメント		
		武装強盗への巻き込まれ		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	ＩＤＰの侵入	[redacted]	[redacted]
	流れ弾		
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰとの小競合い		
	ＩＤＰに対する攻撃への巻き込まれ		
	流れ弾		
	物品盗難		
	疾病罹患		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント	[redacted]	[redacted]
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外活動（ﾛｺﾝ、ﾗﾆｬ、ﾄﾘﾄ、ﾏﾝｶﾞﾗ）	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、[redacted]での[redacted]続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したＳＰＬＡ兵士が確認されるとともに、ＩＤＰが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。 特に、[redacted]や現地雇用のＵＮ職員の拘束も発生しており、ハラスメントへの巻き込まれには注意が必要 また、ＩＤＰとの接触においては疾病への罹患に引き続き注意が必要 さらに、ジュバ市内においては昼間の治安は改善傾向にあるものの、一部地域で主に夜間に銃犯罪が発生していることから流れ弾に注意が必要であるとともに、ＵＮトンピン内ではＩＤＰが近傍に所在しており、作業間の盗難、ＰＯＣサイトへの移送に反対するＩＤＰとＵＮ職員との小競合い及びマシャル派とタバン派の諍いが発生した場合の巻き込まれには注意が必要 また、ＵＮＤＰＫＯ及び安保理からＵＮＭＩＳＳマンデートの妨害に関する懸念が表明されるとともに、南スーダン政府側からはＤＲＣでのＵＮによるＳＰＬＡ－ｉＯの救助支援に対する不満やＵＮＭＩＳＳが犯罪者をＰＯＣサイト内に匿っているという疑念が示される等、対ＵＮ感情は悪化しており注意が必要 加えて、ジュバ南部での戦闘の継続、コダ周辺でのＳＰＬＡの増強等、イェイ道及びグデレ道沿いの戦闘には注視が必要

総　括

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は通行時に小競り合いへの巻き込まれに注意する他、ＩＤＰによる影響が小であり処置事項を徹底して活動可能 ・　ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントのほか、市内においてもハラスメントの可能性は否定できず、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、移動時間、移動経路の指定など処置が必要 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 　また、イエイ道、グデレ道沿いでの戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要

処置・対策	ＩＤＰの侵入	[redacted]
	ＩＤＰとの小競合い	
	物品の盗難	
	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	ＩＤＰデモ対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

2　視察・来隊予定　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

９月２４日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。
　また、部外講話により日本のアフリカ外交について認識を高めるとともに、指揮転移後１００日達成記念として、ジュバサマーフェスタを実施し、隊員相互の団結強化を図る。

(2)ア　活動警備レベル　（ＵＮトンピン地区基準）
　ａ　メインロード旧ＩＤＰゲート西側　レベル[redacted]
　ｂ　その他　レベル[redacted]
イ　宿営地警備　[redacted]

３(1)　共　通
　各種整備のほか、部外講話及びジュバサマーフェスタへの参加

(2)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
　状況により臨時工兵課タスクの実施

(3)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
　宿営地警備、同行警備及び[redacted]

(4)　ＨＱＵ（本部付隊）
　宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区給水活動及び[redacted]

(5)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
　ＵＮトンピン地区及び[redacted]における情報収集

(6)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
　[redacted]

別紙第８－２

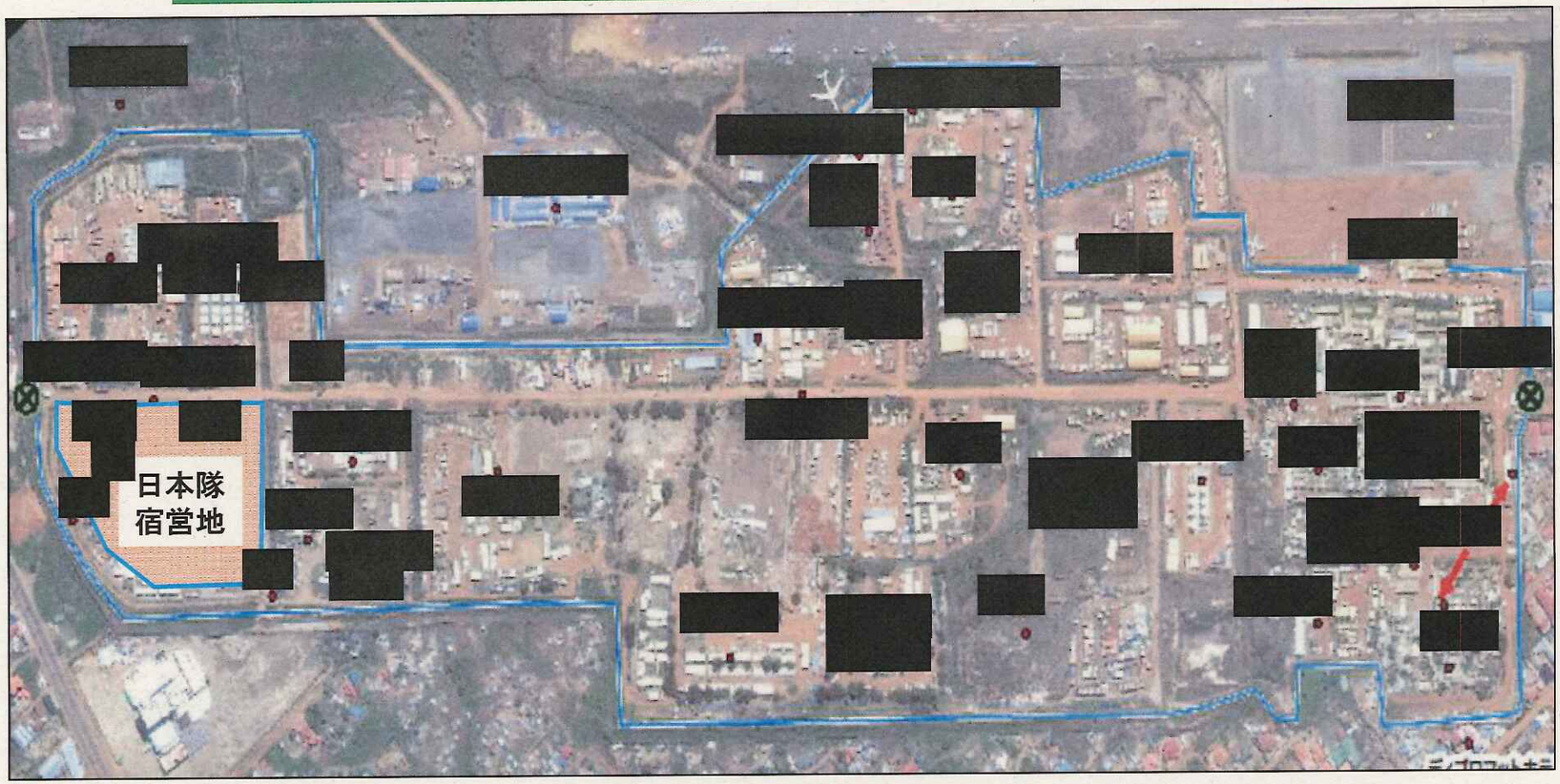
活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／４）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	３	給水車×1、小型×1	[redacted]
②	その他	給　水	補給班	０９００～１２００	ネパール歩兵中隊 エチオピア歩兵大隊	３	給水車×1、小型×1	[redacted]
③		臨時工兵課タスク	器材小隊 隊本部 （広報）	別示	ＵＮトンピン内			[redacted]

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／４）



	臨時タスク

活動概要（ＵＮハウス地区）（３／４）

ＵＮハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（４／４）

ジュバ市内活動部隊なし

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
０９５０～ １４１０	○　日本大使館 ・　次　席　　濱野　　茂 ・　連絡調整員 [redacted]	○　部外講話 ○　ジュバサマーフェスタ参加

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
副隊長			

別紙第１０－２

最先任上級曹長の行動予定

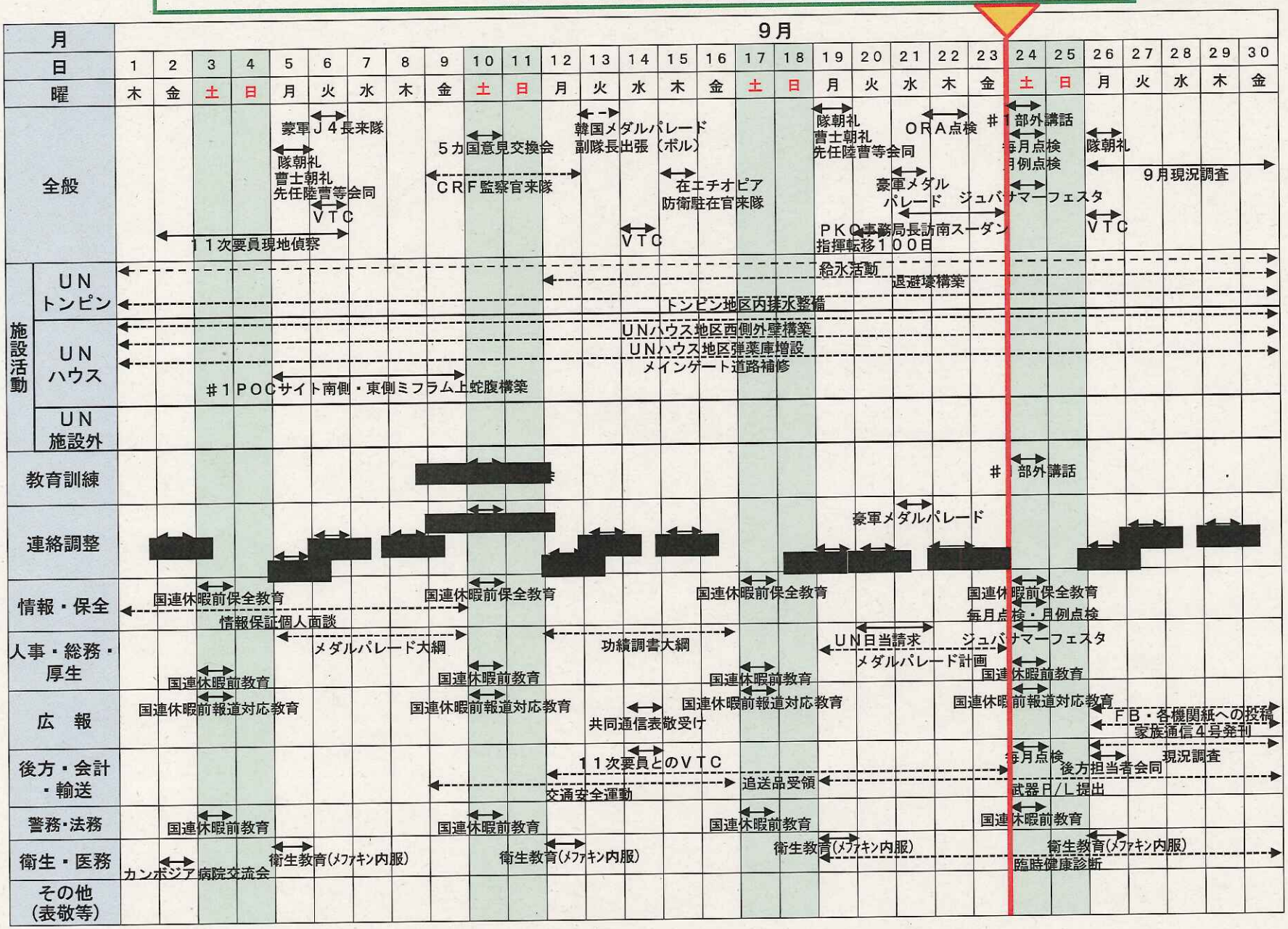
	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

９月　月間業務予定

別紙第１１－１



赤字：変化事項
青字：隊長関連

週間活動予定（９／１８～９／２４）第４１週

別紙第１１－２

日	９／１８	９／１９	９／２０	９／２１	９／２２	９／２３	９／２４
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

赤字：変化事項

週間活動予定（9／25～10／1）第42週

別紙第11－3

日	9／25	9／26	9／27	9／28	9／29	9／30	10／1
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

別紙第１２

連携案件等情報

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練「#4さくらPJ」	MTC	実施の可否について再検討	MTC JICA	JICA帰国に伴いじ後の予定未定	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	・JICA ・大日本土木	CRFにおいて実施の可否について検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼）	UNOPS （大使館）	●工兵課からタスク発出済み	UNOPS （※） （大使館）	●　UNOPSに状況確認中	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　ー：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（２３～２４日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

気温(直射)	気温(日陰)	湿　度	総雨量
３２℃	３２℃	６４％	0mm

日(曜) Date		２３日（金）		２４日（土）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動		[redacted]ウガンダ出張							
		国連休暇（４Ｇｐ）							
								サマーフェスタ	
Juba	天　気								
	気温(℃)	３５	２６	２５	２３	２８	３６	３７	３２
	体感気温(℃)	３５	２６	２５	２３	２８	３６	３７	３２
	降水確率	０％	０％	３０％	６０％	７０％	６０％	６０％	０％
	雨量	0mm	0mm	0mm	0mm	1mm	0mm	0mm	0mm
	風向	南東	南	南南西	南南東	北北西	北	北西	北西
	風速	1	2	2	1	2	1	2	2
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		２５日（日）	２６日（月）	２７日（火）	２８日（水）	２９日（木）
主要な活動		ウガンダ出張	UNの基盤整備			
			#３Ｇｐカウンセリング		#４Ｇｐカウンセリング	
		国連休暇（４Ｇｐ）				国連休暇（５Ｇｐ）
Juba	天　気					
	気温(℃)	３１／２２	３８／２３	３４／２２	３６／２２	３５／２３
	降水確率	７０％	８０％	９０％	４０％	４０％
	雨量	１mm	１０mm	６mm	４mm	８mm
	評価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３４／１６	３２／１６	３０／１７	３０／１７	３２／１７
	降水確率	９０％	９０％	９０％	９０％	９０％
	雨量	１mm	２mm	７mm	５mm	５mm

凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

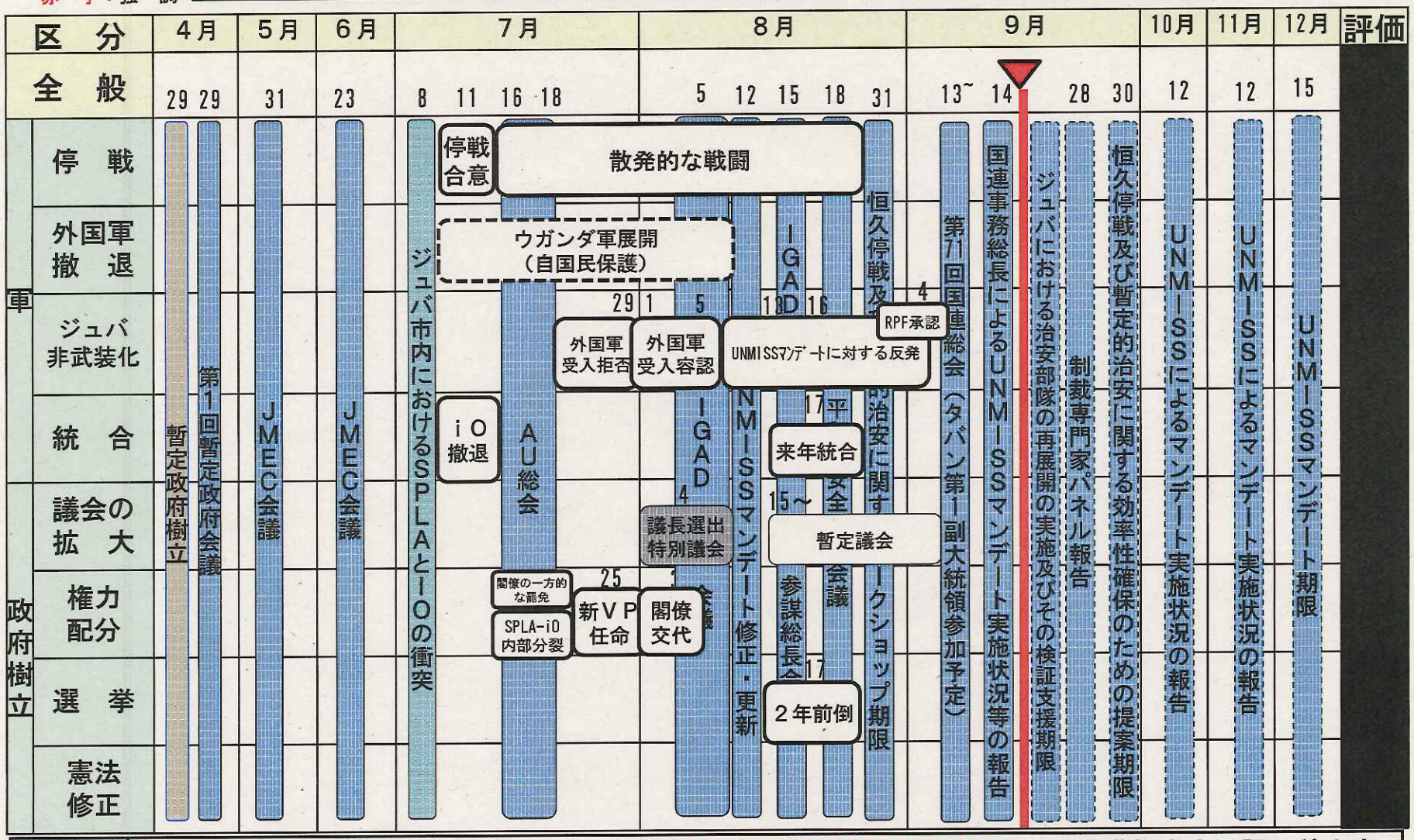
資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは期間を通じて不安定な天候が予想され、一時的に施設作業に影響を及ぼす可能性があり、注意が必要 2　ウガンダは不安定な天候が予想され、局所的な雨に注意

ハラスメント5～	殺人1～ （10発以上の発砲）	殺人5～
暴行・デモ5～	強盗1～	強盗5～
発砲・窃盗5～	窃盗10～	窃盗15～

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	和平合意については、マシャル氏に代わりタバン第１副大統領が台頭し、国際社会も承認に前向きな姿勢を見せていることから、引き続き進展するものと思料 また、地域保護部隊に関し、南スーダン政府は受け入れを承認し、今後は具体的な派遣の形態に関する議論が実施される予定であるが、その進展状況は乏しく、今後の国連による制裁措置、政府側及び反政府側の動向には引き続き注視が必要

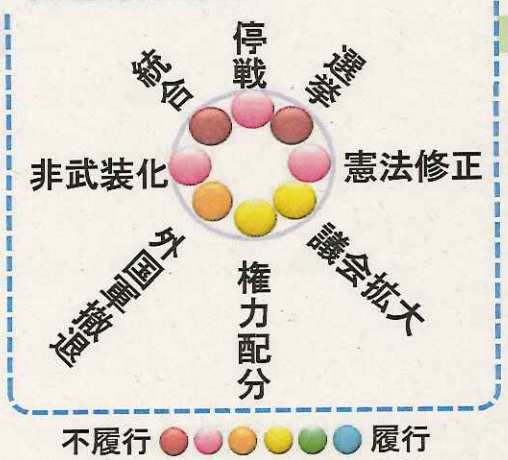
予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 ▼2016.7 2018→

安定 ↑ 不安定

和平合意

合意履行状況



暫定政府

ジュバ戦闘

政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

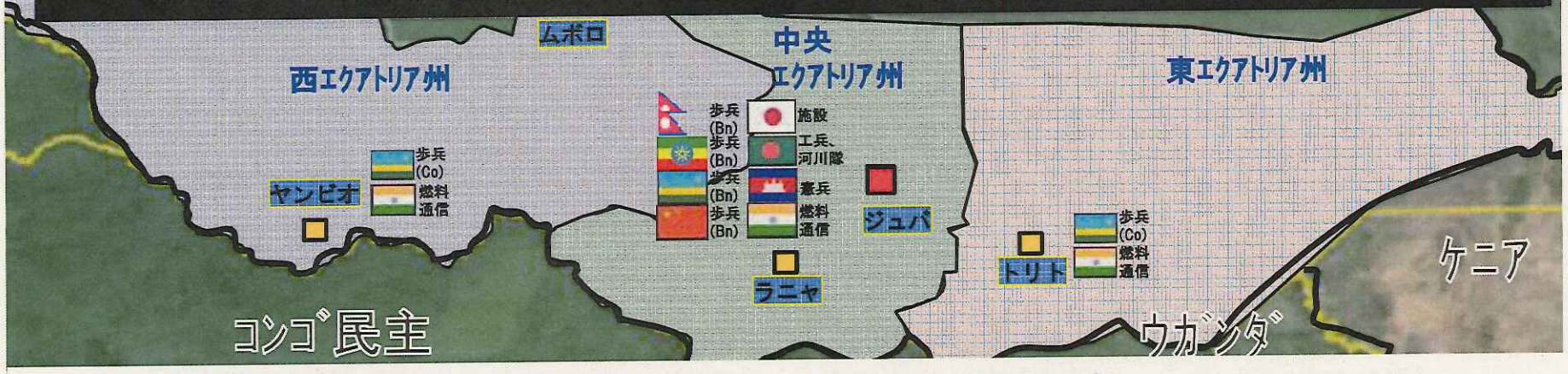
- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- ＳＰＬＡと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部隊状況（２０１６年９月２０日現在）

[redacted]



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]:本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
([redacted]:本部ジュバ)

中国
歩兵大隊 [redacted]
(本部:ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]本部ジュバ)

航空部隊([redacted])
(本部ジュバ)

インド
通信部隊(本部ジュバ)
燃料部隊(本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名:本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊:[redacted](本部:ジュバ)
河川部隊:[redacted](本部:ジュバ)

カンボジア
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

インド
歩兵大隊Ⅱ
※[redacted]ジュバ

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ
※[redacted]ジュバ
[redacted]

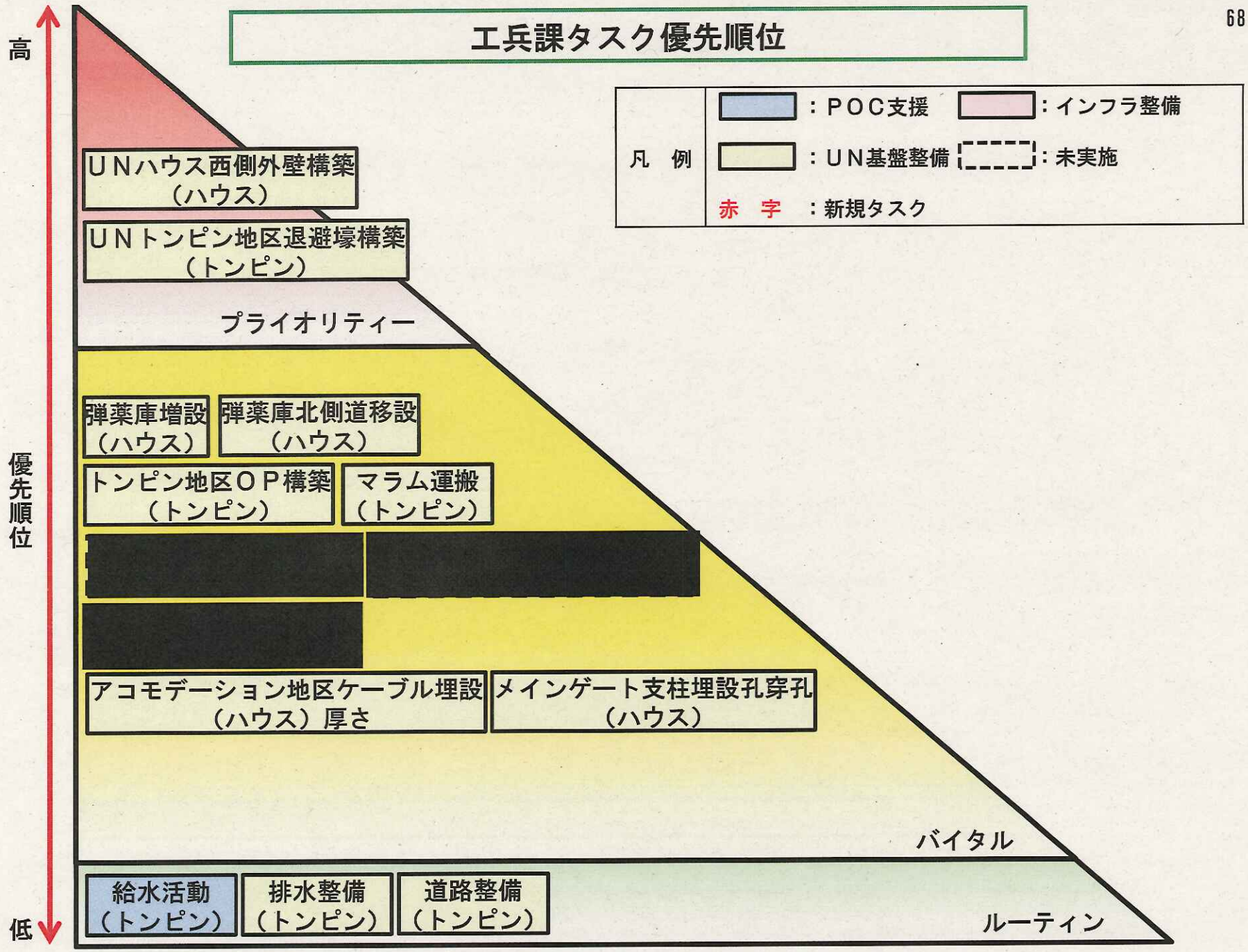
=増派部隊

=後方支援部隊

新規タスク一覧

新規タスク	
タスク名	ルワンダ航空隊コンテナ設置
意　義	ＵＮトンピン地区活動部隊の基盤向上
目　的	ルワンダ航空隊のコンテナ設置を支援して、居住区域の警備基盤の向上を図る。
内　容	コンテナの揚重・設置
区分・期間	バイタル・１日

工兵課タスク優先順位


高
優先順位
低
凡　例
：POC支援
：インフラ整備
：UN基盤整備
：未実施
赤　字　：新規タスク
UNハウス西側外壁構築（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫増設（ハウス）
弾薬庫北側道移設（ハウス）
トンピン地区OP構築（トンピン）
マラム運搬（トンピン）
[redacted]
アコモデーション地区ケーブル埋設（ハウス）厚さ
メインゲート支柱埋設孔穿孔（ハウス）
バイタル
給水活動（トンピン）
排水整備（トンピン）
道路整備（トンピン）
ルーティン

９月２３日タスク等現況（１／２）

凡　例	：ＰＯＣ支援	：インフラ整備	：ＵＮ基盤整備	：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	ＰＯＣ支援	1	ＵＮハウス西側外壁構築	ＵＮハウス	ミフラム構築	実施計画	[redacted]			
492	ＵＮ基盤整備	2	ＵＮトンピン地区退避壕構築	ＵＮトンピン	退避壕構築	実施計画				
470	ＵＮ基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	ＵＮハウス	道路移設	実施計画				マラム待ち
469	ＵＮ基盤整備	4	弾薬庫増設	ＵＮハウス	ヘスコ増設外柵構築	実施計画				
476	ＵＮ基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	ＵＮトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画				工兵課の指示待ち
501	ＵＮ基盤整備	6	ルワンダ航空隊コンテナ積載	ＵＮトンピン	コンテナ積載	実施計画				
397	ＵＮ基盤整備	7	メインゲート支柱埋設孔穿孔	ＵＮハウス	埋設孔穿孔	実施計画				工兵課の指示待ち
333	ＵＮ基盤整備	8	アコモデーション地区ケーブル埋設	ＵＮハウス	埋設溝掘開・埋設	実施計画				工兵課の指示待ち
325	ＵＮ基盤整備	9	給水活動	ＵＮトンピン	給　水					
471	ＵＮ基盤整備	１０	排水整備	ＵＮトンピン	排　水					
459	ＵＮ基盤整備	１１	道路整備	ＵＮトンピン	道路整備					

９月２３日タスク等現況（２／２）

凡　例		：ＵＮ基盤整備

２　未実施

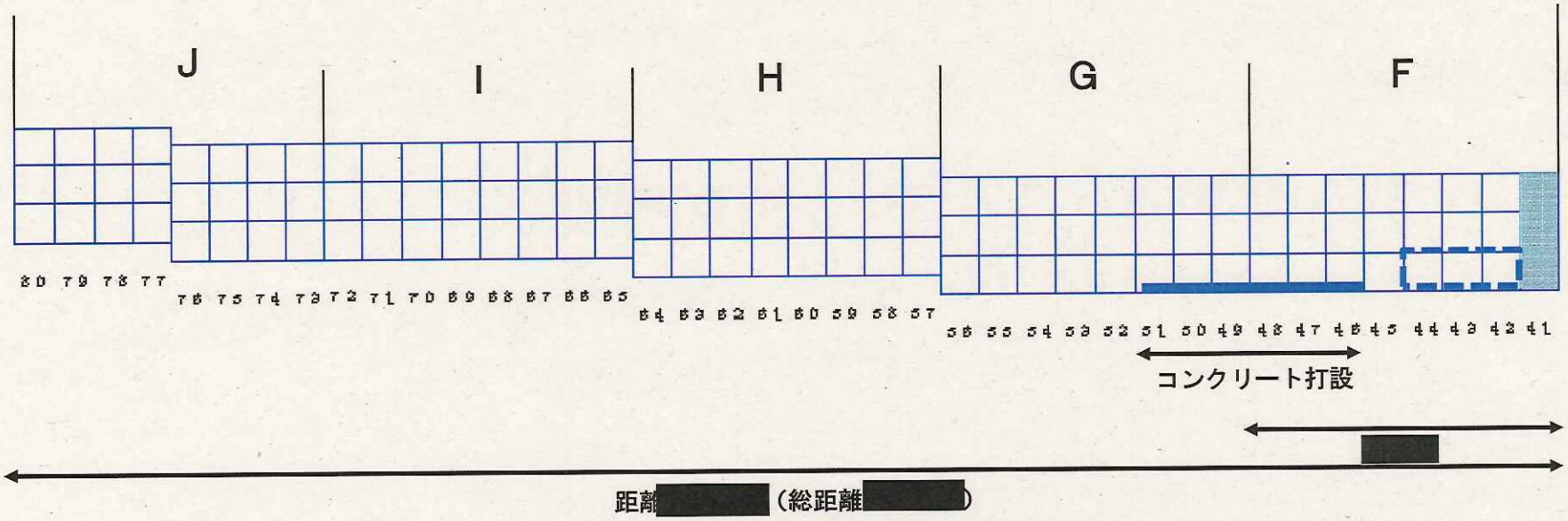
タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
455	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮハウス	[redacted]		[redacted]	[redacted]		
456	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮトンピン	[redacted]		[redacted]	[redacted]		
500	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮトンピン	[redacted]		[redacted]	[redacted]		

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５０１ （４８５）	プライオリティー	１４	
	バイタル	６２	
	ルーティン	３	
	計	７９	
		完　了	６５
		実施中	１１
		未実施	３

活動成果（9/23現在）

ＵＮハウス西側外壁構築（ B工区 ）

B工区



凡例

- ミフラム設置
- 型枠設置箇所
- 空ミフラム設置箇所
- コンクリート打設
- 本日作業箇所

成果

ミフラム設置 [redacted]

コンクリート打設

※　赤字：作業完了により変更部分

ＵＮハウス西側外壁構築全体図

活動概要（ＵＮハウス地区西側外壁構築）

隊員服装・装備等基準

区　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考			

警備の態勢（[redacted]）（9/23現在）

[redacted]

警備の態勢（[redacted]）（9/23現在）

[redacted]

活動写真

UNハウス地区西側外壁構築
（第２施設小隊）

UNハウス弾薬庫増設
（第３施設小隊）

UNトンピン地区排水整備
（施設器材小隊）

UNハウス北側外壁構築のための偵察
（第１施設小隊）